

崇城大学薬学部カリキュラムフロー

教育研究上の目的：医療の高度化に対応できる臨床能力に優れた薬剤師を養成し、人類の健康の維持と疾患の治療に役立つ生命科学研究を行う

カリキュラムポリシー	科目群	1 年次 医療人としての 自覚を培う	2 年次 薬学の本質に迫る	3 年次 基礎薬学を 臨床につなぐ	4 年次 専門知識の 応用を養う	5 年次 病院・薬局で 実習に取り組む	6 年次 薬剤師としての 総合力を養う	学習アウトカム ^(注)	ディプロマポリシー ^(注)			
問題発見・解決能力を養うために、PBL(Problem Based Learning)学習、実習および卒業研究を充実させます。	薬学研究科目				総合薬学研究 I		総合薬学研究 II ▲					
	薬学総合科目				薬学演習 I・II		専門研究演習 ☆					
高度な医療と健康増進、公衆衛生の向上に対応できる能力を養うために、医療系科目を充実させます。	医療系臨床科目		臨床検査化学 I・II・III	感染症予防学	薬事関連法規	臨床薬理学 I・II	臨床薬理学 III *	OC1-1	薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に活用する能力を身につける。(医療系臨床関連)			
	医療系基礎科目薬剤領域		薬物動態学 I・II	薬物投与設計学	製剤学 I・II	製剤学 III	臨床薬理学 III *	OC1-2	薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に活用する能力を身につける。(医療系基礎薬剤関連)			
	医療系基礎科目薬理領域		薬理学 I・II	薬理学 III・IV	応用薬理学		救急救命医学 *	OC1-3	薬剤師としての専門的な知識を常に修得し、これを医療に活用する能力を身につける。(医療系基礎薬理関連)			
	公衆衛生科目		衛生薬学 I	衛生薬学 II	環境衛生化学	公衆衛生学	実務実習演習	OC4-1	地域の保健・医療、行政等に参画、連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を身につける			
学習成果基盤型教育(Outcome Based Education)に基づいて、効果的な学習ができるように科目を編成します。	生物系薬学科目	薬学基礎生物学	生化学 I	生化学 II	基礎免疫学	分子生物学	バイオ医薬品学 *	OC2-3	医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療領域における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける。(生物系)			
		細胞生物学	微生物学 I	微生物学 II								
	化学系薬学科目	薬学基礎化学・演習	有機化学 I・II	有機化学 III	医薬品化学	医薬品合成化学	生物医薬化学 I	生物医薬化学 II	OC2-2	医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療領域における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける。(化学系)		
			生薬学 I・II	天然物化学	漢方概論							
物理系薬学科目	薬学基礎物理学・演習	物理化学 I	物理化学 II・III		放射線薬学	創薬概論		OC2-1	医薬品・生体に関する基本的な知識に基づき、薬学・医療領域における問題点の思索・解決能力と自発的な学習態度を身につける。(物理系)			
		分析化学 I	分析化学 II	機器分析学								
人間性・倫理観を養うために、教養・倫理教育を継続的に実施します。	薬学教養科目	薬学概論	生命倫理学	早期体験学習	コミュニケーション論	看護福祉概論	医薬倫理学	日本薬局方概論 *	医療経済論	血清製剤学 *	OC3-1	患者・他の医療職から信頼される薬剤師に相応しい高い使命感、責任感、倫理観ならびにコミュニケーション能力を身につける。
		基礎情報処理演習	薬学基礎数学・演習					マーケティング *				
	英語科目	イングリッシュコミュニケーション I・II	イングリッシュコミュニケーション III・IV		基礎科学英語		薬学英語		実用薬学英語 *	医学英語 *	DP3	医療人としての豊かな人間性と高い倫理観を身につけたもの。
	一般教養科目	キャリア教育科目 *	キャリア教育科目 *									
	人間と科学科目 *	人間と科学科目 *										

* 選択科目 ☆ 1科目選択必修 ▲ どちらか1科目選択必修

注) ディプロマポリシーと学習アウトカムの関係は次ページの黒枠内を参照

薬剤師
国家試験